

青蒿

説ニ佐渡ノシロヨモギヲ以テ白蒿ニアツ、是ニアラズ、

〔多識編二〕青蒿加良與毛岐異名草蒿本方潰同

〔和漢三才圖會九十四本〕青蒿 草蒿 方潰 香蒿 犴蒿 藪音牽 俗云臭艾又云臭胡蘿蔔略 中

按青蒿處處河原多有之六月六日採之調神麴

〔重修本草綱目啓蒙十〕青蒿 カハラニンジン ノニンジン カラヨモギ ノラニジン 丹波

ヤブニンジン クサニンジン 大和 クサヨモギ

山中ニ生ゼズ江河及ビ海邊ニ多シ秋月子落テ自ラ苗ヲ發ス初ハ地ニ就テ叢生ス葉ハ胡蘿蔔

ノ葉ニ似テ毛茸ナク深綠色微臭アリ冬枯レズ春ニ至テ臺ヲ抽ズルコト高サ三五尺ニ至ル枝

葉共ニ互生ス葉ノ形漸ク細クナリ梢ニ及テハ絲ノ如クシテ茵蔯ノ梢葉ニ似タリ脚葉ノ形ト

大ニ異ナリ色ハ始終深緑ナリ夏月枝末葉間ゴトニ花ヲ綴ル繁密ニシテ穂ノ如シ花ノ形ハ天

名タテ精コノ花ニ似テ小ク黄蘗多クアツマリ大サ一分餘後蒂中ニ細子ヲ結ビ苗根共ニ枯ル青葉ハ

此類ノ中最早ク枯ル神麴ニ用ユル青蒿ハ此草ヲ用ユベシ然レドモ世上ニ青蒿ト云ハ多ハ次

ノ條ノ黄花蒿ニシテ眞ニアラズ青蒿ノ花ハクソニンジンヨリ大ニシテ黄蘗多ク出黄花蒿ト

モ云ベキニ似タリ故ニ誤テ青蒿ヲ黄花蒿トシ黄花蒿ヲ青蒿トス今藥舖モ誤ヲ同フス宜ク辨

別スベシ花小ナル者ハ黄花蒿花大ナルモノハ青蒿ナリ宗奭ノ説ニ夢溪筆談ヲ引キ一種黄色

一種青色ト云時ハ黄花蒿モ青蒿ノ中ナル故通ジ用ルモ妨ナシト雖ドモ青蒿ニハ必カハラ人

參ヲ用ルヲ眞トス

〔草木育種後編下品〕苦蒿 青蒿の一種也越州富山より來り今予阿部が園中に多く培養す秋

月種を布き冬を凌ぎ夏月に至り高さ三四尺花實あり一度栽る時は實自然と落て再び種るに及ばず喜任按に莖葉ともに苦き事、和蘭舶載來るアルセムに同じ、代用して効あり、山野ともに

苦蒿